

普及活動情勢報告（令和7年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

夏場の暑さに負けない環境づくり ～遮熱塗布資材の技術実証ほの設置～



遮熱塗布資材散布の様子

8月2日、JAとの協働により、土佐市宇佐地区の施設ピーマンのほ場で、高温対策技術として遮熱塗布資材の実証試験を開始しました。

農業改良普及課は、実証計画の企画立案、調査項目の選定、調査機器の設置等を行いました。実証までに、JAや資材メーカー、実証ほ場の園主との打ち合わせをすることで、実証試験が滞りなく進み、有効性を確認することができています。

実証ほの園主からは、「資材塗布前後で明らかにハウス内温度が違う」、「小面積であれば散布労力もかからず、効果があれば次年度も活用したい」という声がありました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携し、園芸産地の生産基盤強化に向けて支援をしていきます。

イチゴの生産安定 ～土佐市いちご部会現地検討会～



育苗ほ場巡回の様子

8月28日、土佐市いちご部会の現地検討会が開催され、生産者10名参加のもと、8戸の生産者育苗ほ場を巡回しました。農業改良普及課からは、土壤消毒時の温度データや、イチゴ苗葉柄の硝酸イオン濃度について情報提供をしました。

部会では、苗を花芽分化促進のため予冷庫へ入庫するため「入庫前の葉柄硝酸イオン濃度は追肥量の参考になる」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、いちご部会の生産安定に向けた支援を継続していきます。

労務管理研修会

～農業で雇用する場合に知っておきたいこと～



研修会の様子

9月2日、中央西農業振興センターの主催により、管内の認定農業者、農村女性リーダー、新規就農者等を対象とした労務管理研修会を開催し、11人の参加がありました。

研修会は社会保険労務士を講師に迎え「採用後に必要な労務管理のいろは」と「就業規則の作成について」の2部構成で講義が行われました。参加者からは休憩時間の取り方や年次有給休暇の付与日数の考え方等について質問が出され、疑問に思っていたとの回答も得られ安心したようでした。

農業改良普及課は、今後も継続して働きやすい環境づくりへの意識向上を図るとともに就業規則の作成等を支援していきます。

さらなる経営発展に向けて
～税理士とともに面談～



9月12日及び19日、経営発展志向農家2名が土佐合同庁舎で税理士と面談を行いました。農業改良普及課は、税理士とともに、経費の見直しや、法人化に向けたシミュレーションを行い、今後の経営の方向性を話し合いました。

農家からは、「疑問に思っていたことが解決でき、すっきりした」、「次年度に法人化を進めていく。とても勉強になった」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も専門家や関係機関と連携しながら、経営発展志向のある農家を支援していきます。